

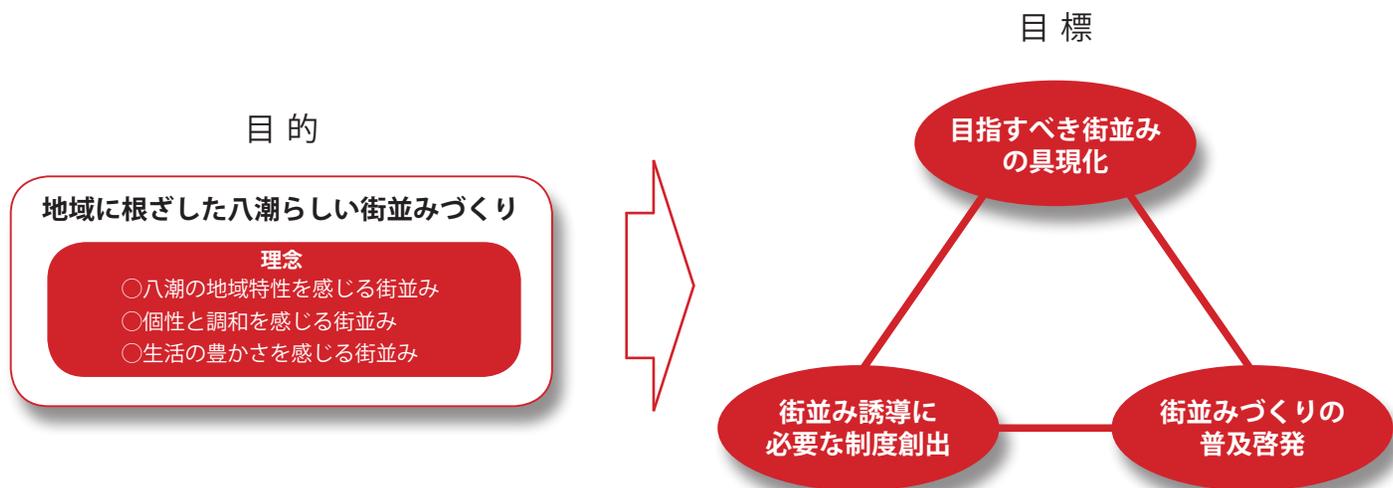
八潮街並みづくり 100 年運動

運動の背景

八潮市では平成 19 年 3 月に八潮市景観計画を策定し、一定規模以上の建築物における景観誘導による良好な景観形成を推進してきた。しかし、規制型の街並み誘導には限界があり、美しい街並み景観づくりの一層の推進を図るためには、市民が主体的に街並みを創り出そうという意識をもち、自ら実行することが重要な課題であった。

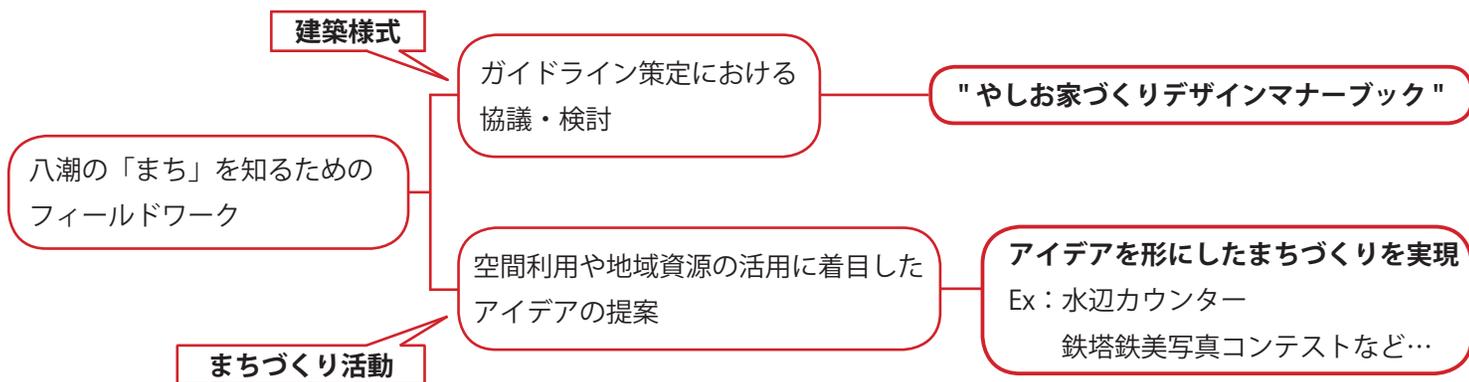
このことから、市民の共通認識を得られる「八潮らしい家づくりのガイドライン(基準)の策定」等による新たな街並みの誘導策が必要であると考え、平成 20 年に八潮街並みづくり 100 年運動実行委員会を発足し「八潮街並みづくり 100 年運動」を推進してきたところである。

八潮街並みづくり 100 年運動概要

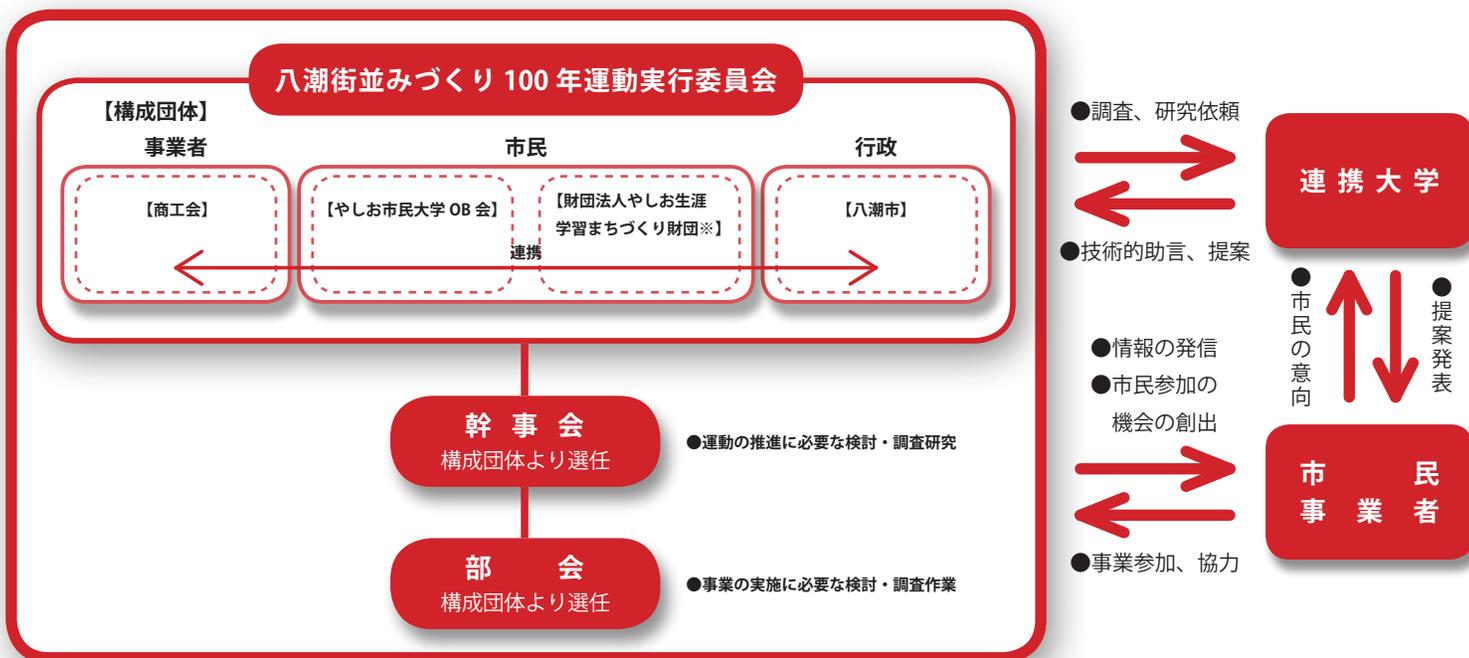


八潮街並みづくり 100 年運動は、50 年後、100 年後を見据え、この街に住んで良かったと思えるような、八潮らしさを活かした魅力ある街並みをつくるための運動である。将来に誇れるような街並みをつくるためには、市民の主体性を促すような新たな取組みが必要であると、市街地における街並みを構成する戸建て住宅のガイドラインの策定や、制度の創出等を最終的な目標とした。

八潮街並みづくり 100 年運動プロセス



【組織体系図】



※財団法人やしお生涯学習まちづくり財団は平成 25 年 3 月 31 日をもって解散している